

平成25年度 第3回理事会

議事録

平成25年12月15日(日曜日) 13時～14時 東京ステーションジョシファレンス

【出席理事】二木英徳、小竹英雄、石崎朔子、具志堅幸司、渡辺守成、山本宜史、遠藤幸一、山田正夫
加納 実、長谷川 靖、米田 功、

【欠席理事】塚原光男(ユニバーシアード派遣)、水鳥寿思(豊田国際派遣)、小林隆(豊田国際派遣)
山崎浩子(海外派遣)、張西芳枝(豊田国際派遣)、竹内輝明(豊田国際派遣)、
荒木達雄(FIG会議派遣)、齋藤武司(本務)、

【出席監事】監物永三、【欠席監事】荒井 隆

【他出席者】立花泰則(サポート委員長)

1、会議導入

(渡辺専務理事) 理事会構成人数19名のうち「豊田国際競技会」への派遣などで役員8名が欠席して
いますが定款に則り過半数を超えているので理事会は成立することを宣言しました。

(二木会長ご挨拶)

- ・年末のご多忙の中、お集まりいただきありがとうございました。
- ・今年を振り返ってみると男女体操、新体操、トランポリンともに国民の皆さまのご期待に応える活躍を残し、2016リオオリンピック、2020年東京オリンピックに向けて良いスタートができたと思います。本日もご出席の男子体操・加藤強化ナショナル部長、トランポリン山本強化本部長、そして本日欠席の強化本部長に対しても、心からご苦勞様と感謝の意を表したいと思います。
- ・これからも、改革を続けることで良い成績を出し続けていただきたいと思います。
- ・しかし、これらの華々しい選手の活躍の反面、指導における暴力の疑いで日本体操界からコーチが書類送検されるという事態も発生を致しております。スポーツ界にとって大変不名誉な事態を体操界が発生させてしまったことを重く受け止め反省しなければならないと思っています。
- ・本理事会では反省すべきことは大いに反省し、新年度も飛躍できる体制を整える年とする理事会としたいと思いますので、ご協力をお願いします。

(議事録署名人の指名) 二木会長、渡辺専務理事、監物監事



2、発表報告事項			
発表報告1	トランポリン	第29回世界トランポリン・ソフィア大会報告	P01～11
・質問・意見は特になし			
発表報告2	専務理事	指導における暴力、パワハラ、セクハラの処分報告	P12～19
(渡辺専務) 体操界関係者が書類送検されたことを重く受け止めていると反省を述べた。			
(渡辺専務) 本件に関して協会の内部極秘資料が週刊誌に漏洩したことについて反省するとともに協会の情報管理を徹底する。当面は専務理事と弁護士のための「調査委員会」にし情報管理を徹底していく。			
(監物監事) 現在の専務理事と弁護士のための体制より「懲戒委員会」や「倫理委員会」での管理のほうが良いのではないか。			
(二木会長) 本来であればそうだ。しかし現状は今回のように情報漏洩が出てくる状況では仕方ない対処だ。しかし案件によっては「懲戒委員会」を設置する必要もある。ケースごとに対応すべきだろう。			
(二木会長) 情報漏洩をした件は「倫理委員会」をたちあげしっかりとした対処をすべきだろう。			
(監物監事) その辺の手順を今後は倫理規定の中に盛り込むことを提案する。			
(渡辺専務) 倫理規定の修正を検討する。			
(山田理事) 対応方法について当初は事象が発生した場合、日本体操協会と都道府県体操協会との共同作業で問題解決をはかるという手順だったが変更したということか。			
(渡辺専務) 情報漏洩があり噂が横行する現状においては、軽微な案件については日本体操協会での処理し甚大な案件については地域協会と連動するという形式で行った方が体操発展への弊害を最小限に抑えられると判断して取り組んでいる。			

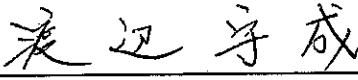

<p>(山田理事) 各地域は方法変更を知らされていないので変更した旨を通知して欲しい。</p> <p>(山田理事) 相談窓口で相談した内容が週刊誌に情報漏洩されるのでは相談窓口が機能していない。どういった経路で情報漏洩が発生したのか「調査委員会」を立ち上げ調査をすべきだ。</p> <p>(渡辺専務) 「情報漏洩・調査委員会」を立ち上げる</p> <p>(山田理事) 11月23日の所属からの自己申告による案件について所属への処罰だけでなく、暴力を行った本人への処分を行う必要があるのではないか。</p> <p>(渡辺専務) 追加で調査のうえ、本人への処分も検討する。</p> <p>(山田理事) 11月23日の所属からの自己申告による案件は、本協会の常務理事なので常務理事としての処分はしないのか。</p> <p>(渡辺専務) 本件は所属の代表として「厳重注意」という処分を受けている。それ以上は必要ないと思う。</p>			
発表報告 3	専務理事	2014年世界体操、日本代表決定競技会の日程	P20
<p>(長谷川理事) 「全日本種目別選手権」を先に開催し、その後に「全日本個人総合選手権」で個人総合に出場する2名を選出するやり方もあるのではないか。</p> <p>(加藤部長) ・NHK杯で個人総合選手、全日本種目別選手権で種目別選手を選出する。 ・これまでのポイント制では選出せず、金メダルを獲得できる派遣標準得点制度を採用する。 ・NHK杯で個人総合選手4名、全日本種目別選手権でスペシャリスト2名を選考する。</p> <p>(具志堅副会長) ・個人総合決勝には2名しか進めない。これまでの議論でも2名にするか3名にするかを議論してきたのに、いきなり4名を選出するというのは、現在日本体操協会が目標としている「種目別を強化して団体を強化する」という方向性に逆行している。 ・団体決勝の6-3-3に照準を合わせるのであれば、個人総合2名で種目別選手4名でないか。</p> <p>(長谷川理事) ・団体で273点を取らないと優勝できない。怪我などのリスクを考えると個人総合4名というのも理解はできる。</p> <p>(遠藤常務) ・2014年の世界選手権は団体24位までがオリンピック予選通過なので、2014年は中国というアウェーなので、思い切って「種目別戦略」を試したらどうか。</p> <p>(二木会長) ・個人総合の選手が種目別選手権でも頑張っており、結果的に個人総合が4名になることもある。</p> <p>(渡辺専務) ・NHK杯で個人総合選手2人を決定し、種目別選手権後にチーム得点が高くなる選手を個人総合選手と種目別選手からフリキシブルに選考できるようにしたらどうか。最初から4名と決めつける必要はない。</p> <p>(具志堅副会長) ・種目別を底上げしようとするのであれば個人総合は2名で他はフレキシブルに選考が良い。</p> <p>(米田理事) ・派遣標準得点は金メダル獲得得点のほうが種目別のレベル向上になるし、結果的にチームにも貢献することとなる。</p> <p>(二木会長) ・個人総合選手が怪我する可能性も考慮し、個人総合3名、種目別3名を基本とし、チーム得点が最も高くなる選手を選考する。</p>			
発表報告 4	コーチ育成	平成25年度公認コーチ養成講習会の実施計画	P21
<p>・質問・意見は特になし</p>			
発表報告 5	コーチ育成	日本体育協会 公認スポーツ指導者表彰 受賞者内定	P22
<p>(監物監事) ・資格は15年以上の経験者なので、もっと多く推薦したらどうか。</p>			
発表報告 6	地域	国体関連事項の報告	P23
<p>(監物監事) ・指導者資格が必要となることを全国に通達する必要がある</p>			
発表報告 7	地域	体操、平成25年度U-12指定育成選手	P24
<p>・質問・意見は特になし</p>			
発表報告 8	一般体操	2013日本体操祭	P25
<p>・質問・意見は特になし</p>			
発表報告 9	新体操	新体操、9ブロック選抜U-12合宿開催報告	P26
<p>・質問・意見は特になし</p>			
発表報告 10	地域	平成25年度ビジネススクール受講者について	P27
<p>・質問・意見は特になし</p>			
発表報告 11	国際	2014世界体操、2020東京オリンピックの各国事前合宿受入要請	P28
<p>・質問・意見は特になし</p>			

発表報告 12	その他		
・質問・意見は特になし			
2、審議事項			
審議事項 1	総務	平成 25 年度 協会三賞候補者	P29~30
(渡辺専務) 審判委員会推薦の三輪康廣氏については次年度に推薦。			
審議事項 2	総務	平成 25 年度 優秀指導者	P31
・質問・意見は特になし			
審議事項 3	新体操	新体操、2014 世界新体操、アジア大会、日本代表選考方法	P32
・質問・意見は特になし			
審議事項 4	新体操	新体操、2014 アジアジュニア選手権の日本代表選考方法	P33
・質問・意見は特になし			
審議事項 5	コーチ育成	平成 25 年度 東西ブロック指導者・選手講習会の実施について	P34
・質問・意見は特になし			
審議事項 6	総務	加盟団体規定の改定	P35
(山田理事)「登録規定内のブロック費名称の削除」の文書を削除する			
審議事項 7	総務	ブロック費の金額について	P36
(山田理事) 各ブロックに支給したブロック費については使途を報告させるべき			
審議事項 8		その他	
・質問・意見は特になし			
3、文書報告			
文書報告 1	男子体操	第 44 回世界選手権アントワープ大会	P37~58

平成 26 年 月 日

議事録署名人

会 長 二木英徳  

専務理事 渡辺守成  

監 事 監物永三 